

一房のぶどう



第5号

平成 17年 9月 15日

編集・発行 / あきる野市教育委員会 〒197-0814 あきる野市二宮 350 ☎042(558)1111 (代)

家庭への3つの呼びかけ

子どもとの信頼関係を築こう

家族と居ると楽しい、家に帰ると安心する、そんな環境をつくりましょう。

家庭でも本を楽しもう

読書は子どもの心を広げたり、たくましくしたり、豊かにしてくれます。

食事と睡眠で規則正しい生活リズムをつくろう

思いやりの心や、集中する力、我慢する力を育てるには規則正しい生活リズムが大切です。

第10回あきる野市少年少女ソフトボール大会は、子どもたちは、暑さに負けず頑張りました。写真は、新たに加えたティールコース



第10回友好都市大島サマースクール

39名の子どもたちが、大島の子どものたちとの交流やさまざまな体験をしました。

教育長と給食を食べよう！

教育長は、夏休み前の1ヶ月間、市内小・中学校の児童・生徒たちと一緒に給食の時間を過ごしました。(写真は増戸中の生徒たちと)



毎月第2日曜日は「家庭の日」です

家族の結びつきが希薄になってきているといわれている今日、市では家族のコミュニケーションを密にし、親子の絆を深めるとともに明るい家庭づくりに努めていただきたいという願いを込めて、毎月第2日曜日を「家庭の日」として設定しています。次の「家庭の日」は10月9日(日)です。

弱い者いじめは絶対に許さない

いじめ・不登校 ゼロへの挑戦

平成17年度、あきる野市教育委員会は、主な取り組みとして、次の5つの事項を重点的に取り組み、教育の充実を図っています。

- 一 いじめ・不登校ゼロへの挑戦
- 二 学校安全・安心対策
- 三 学力向上対策
- 四 小規模学校対策
- 五 小中一貫教育問題

長い夏休みが終わったこの時期を捉え、この5つの事項のうち、特に、「いじめ・不登校ゼロへの挑戦」の「いじめ」について取り上げます。
「いじめ」による痛ましい事故が毎日のように報道されており、本市においても依然としてなくなる兆しはありません。
「いじめ」によって日々苦しんでいる子どもを、一刻も早くゼロにすることを目指して、「いじめ」に対する考え方を、強い決意をもって以下に示し取り組んでいきます。

いじめは人権にかかわる重大な問題

いじめは、子どもの健全な成長にとって、見逃すことのできない影響を及ぼす深刻な問題である。教育委員会は、いじめ撲滅の三原則として、次を示し、徹底的に指導をしていく。

いじめ撲滅三原則

- するを許さず
- されるを責めず
- いじめに第三者なし

まず、誰よりもいじめの側が悪いのだという認識に立ち、これを許さないという毅然とした態度で臨むことが重要である。

また、いじめであるか否かの判断は、あくまでいじめられていた子どもや保護者の認識の問題であるということに銘記し、表面的、形式的な判断で済ませることなく、踏みつけられていた子どもや保護者の立場に立って、細心の注意を払い、親身の指導を行うことが不可欠である。一般に、いじめは学校生活において、弱い者、集団とは異なる者等を排除しようとする傾向に根ざして発生する。

したがって、いじめの早期発見と解決に当たっては、教師の責任は重い。

学校においては、あくまで児童生徒一人ひとりをかけがえのない存在と受け止めて、日頃から道徳教育や心の教育等の充実を図り、推進し、子ども同士の間を関係性を円滑にし、お互いに思いやり尊重しあう態度の育成をしていくことが大切である。

いじめによる不登校などは絶対に出すわけにはいかない。

教育委員会は、ここに強く示した「いじめ」に対する考え方に沿った、いじめや不登校問題の解決に向けた各校の取り組みを、全力で支援します。

さらに、家庭・地域への啓発活動や学校、家庭、地域、行政の連携の強化にも努めます。

「いじめ」は、それを気付かないでいる私たち大人の問題と言い換えることもできます。「いじめゼロへの挑戦」は、子どもの成長にかかわる全ての大人のテーマであると考えています。

スクールカウンセラーを配置しています

中学校全校に、いじめや不登校など心の悩みの相談に応じ、指導、助言等を行う臨床心理士などカウンセラーリングの専門家を配置しています。悩まず気軽に相談してください。

教育相談所を開設しています

あきる野市教育相談所では、

高校生以下のお子さんの、教育に関する悩みや心配ごとの相談を受け、助言や必要な情報の提供などを行い、悩みごとの解消に向けて相談員が一緒になって考えます。

電話相談
平日午前9時～12時、午後1時～5時

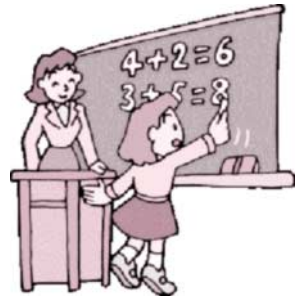
面接相談

申し込み・電話で日時を調整します。

- 教育相談所（市役所別館内）
042-558-6444
- 教育相談所五日市分室（五日市地域交流センター内）
042-596-6460

特別支援教育推進情報 -その4-

●学校の巡回相談を進めています



巡回相談員の設置

「3分と席に座っていられない」、「みんなと同じようにできない」、「友達とうまくかかわれない」など、その子どもなりに努力はしているものの、集団の中でどうもうまく行動できない。どのような理由があつてうまくいかないのか、何とかしたいという思いがあつても、家族も教員もこうしてみようという見通しがなかなか立たないことがあります。

子どものサインを見逃さない

生活や学習に何らかの困難を感じている子どもは、自分にあつた指導や支援を求めています。

支援のスタートは、子どもが出している様々なサインに対して「変だな」「どうしてかな」という教員や家族の気付きです。「変だな。どうしてかな?」と気付いたら、次に「いつ、どこで」「どのようなとき」「どんな問題が起こるか」をよく見て記録し、問題となるつまずきや困難の様子を正確に把握することが大切です。

「これはサインなのかな?」と思うような場合もあります。それが見逃してしまつたために、適切な対応が遅れてしまつたこともあります。場合によっては、問題行動等につながることもあります。学年が上がるにつれて、学習への自信を失い劣等感をもつたり、人間関係がうまくいかずに不登校になったり、反社会的な行動をとつたりと、「二次的な障害」につながる

ることも決して少なくありません。

子どもの成長にかかわっている私たち大人には、できるだけ早期に子どもの出すサインに気づき、適切に対応する責任があります。

関係者の連携が大切

この4月から7月までの巡回相談回数は延べ28回実施します。巡回相談員は各校の特別支援教育校内委員会やコーディネーターとの連携を強めています。現在、通常の学級で学校生活を送っている小学生153人、中学生68人の子どもたちに

ついて、どのような支援が必要かを検討し、支援の具体化を進めています。

左図のように、学校と巡回相談員が検討して、支援の一つとして指導補助員を配置している場合もあります。また、医療の立場からも助言等を受けて、学校での指導・支援が改善された例もあります。

巡回相談の活動を軸にして、子どもたちが出しているサインを一つも見逃さない、そして、一人ひとりの子どもが求める支援ができる体制づくりを、関係者との連携のもとに進めています。



2005夏!! 熱く燃えた子どもたち

小・中学生が 関東大会、全国大会へ

今年の夏休みは、市内小・中学校の子どもたちが、日本各地で開催の関東大会や全国大会に出場し、日頃の成果を思う存分発揮してきました。

大会名	開催地	出場者	学校名	種目	結果
第32回全日本中学校陸上競技大会	岐阜県	高澤佑基	西中学校	400m(男子)	予選
第32回全日本中学校陸上競技大会	岐阜県	方志 翼	御堂中学校	110mハードル(男子)	予選
第45回全国中学校水泳競技大会	三重県	富樫愛美	秋多中学校	200m、400m自由形(女子)	200m 9位、400m 30位
第35回全国中学校剣道大会	三重県	女子剣道部	秋多中学校	団体戦(女子)	予選
第35回全国中学校剣道大会	三重県	長浜里沙	秋多中学校	個人戦(女子)	予選
第5回全日本少年少女空手道大会	東京都	関根斗夢	屋城小学校	形の部(男子)	第3位
第19回全日本小学生男女ソフトボール大会	福岡県	オールあきる野女子	市内小学校他	ソフトボール(女子)	ベスト8
第5回全日本中学生男女ソフトボール大会	大阪府	あきる野学生クラブ	菅生中学校他	ソフトボール(女子)	第3位
第35回関東中学校ソフトテニス大会	茨城県	女子ソフトテニス部	秋多中学校	団体戦(女子)	ベスト16
第35回関東中学校ソフトテニス大会	茨城県	杉山 渉・藤原勇輝	御堂中学校	個人戦ダブルス(男子)	ベスト16
第36回関東中学校体操競技大会	群馬県	浦野翔太	御堂中学校	個人戦(男子)	総合第10位
第33回関東中学校陸上競技大会	埼玉県	高澤佑基	西中学校	400m(男子)	第5位
第33回関東中学校陸上競技大会	埼玉県	高澤佑基	西中学校	都選抜400m R(男子)	第7位
第30回関東中学校剣道大会	群馬県	女子剣道部	秋多中学校	団体戦(女子)	ベスト8
第30回関東中学校剣道大会	群馬県	長浜里沙	秋多中学校	個人戦(女子)	2回戦
第30回関東中学校剣道大会	群馬県	男子剣道部	東中学校	団体戦(男子)	予選
第30回関東中学校柔道大会	山梨県	乙津瑞希	五日市中学校	個人戦81kg級(男子)	第3位
第22回関東小学生男女ソフトボール大会	山梨県	オールあきる野女子	市内小学校他	ソフトボール(女子)	準優勝



関東中学校柔道大会81kg級個人戦で、見事第3位に入賞した乙津瑞希選手(五日市中)

第10回 あきる野市 少年少女ソフトボール大会結果

7月16日(土)に第10回あきる野市少年少女ソフトボール大会が総合グラウンドで開催され、22チーム・307名の小学生が参加しました。今年はソフトボールをやったことがない人でも気軽に参加できるように、初心者向けのティーボールコースが新設されました。大会当日は30度を超える暑さとなり、子どもたちは元気に頑張りました。

ソフトボールコース 少年の部

順位	チーム名
優勝	東秋留小学校
準優勝	五日市少年野球クラブ
3位	小宮ドラゴンズ
3位	多西小男子ソフト

ソフトボールコース 少女の部

順位	チーム名
優勝	前田ブラックホームズ
準優勝	多西小女子ソフト
3位	南秋留ゴールドイーグルス
3位	東小ファイターズジュニア

ティーボールコース

順位	チーム名
Aブロック優勝	一の谷小学校
Bブロック優勝	五日市TBファイターズA



栗原市・あきる野市 中学生友好親善交流会が行われました。7月27日(水)から29日(金)までの3日間、宮城県栗原市(旧志波姫町)とあきる野市の中学生による友好親善交流会が行われました。この事業は、「五日市憲法案」起草者の「千葉卓三郎」の生誕地である宮城県栗原市(旧志波姫町)との交流がきっかけで、平成元年から行われており、今回、栗原市からは、志波姫中学校の生徒29人をはじめ、教員など37人が来市し、3日間わたる交流会を実施しました。交流会は、生徒会の交流と、部活動交流として、野球部の交流が行われました。生徒会交流では、「生徒会の活動」について、発表と質問に

よる討論の中から、それぞれの学校の状況がわかり、今後の生徒会活動に反映できる交流となりました。野球交流では、志波姫中学校とあきる野市中学校選抜(各中学校の代表で構成)の白熱した試合が行われ、選抜チームが3対1で勝利しました。選手たちは、練習や試合を通じて生徒同士の交流を楽しんでいました。3日間の交流会でしたが、それぞれ思い出に残る充実した交流ができました。これからも、栗原市とあきる野市の友好親善の輪が、次代を担う中学生とともに広がっていくことでしょう。

第10回友好都市 大島サマースクール

7月31日(日)から8月2日(火)まで、市内の小中学生(4~6年)39名が市の友好都市である東京都大島町を訪れました。子どもたちは大島で橋染め体験、大島町立さくら小学校の子どもたちとの交流、海岸沿いのサイクリングなど、親元を離れ、生活環境・地理的条件の違いと、真つ黒に日焼けして帰ってきました。

熱戦が繰り広げられた 第10回子供すもう大会



7月23日(土)に、子供すもう大会が開催され、暑さの中で、小学1年生から6年生までの男女270名が元気いっぱい土俵で競い合いました。

楽しかった親子料理教室

「いよいよ。うまい!」カレーを味見した子どもたちの声です。8月4日(木)に実施した親子料理教室では、夏野菜たっぷりのカレーやサラダ・牛乳羹を作ったり、ガスを使ってご飯を炊くことにもチャレンジしました。箱に入ったカレーは、バターで小麦粉を炒めてルーができることに驚いていました。野菜を切ったり、卵を茹でたり、肉を炒めたり、どの作業にも真剣に取り組み、盛り付けも班ごとに考え、お昼はそれを楽しく食べました。幼児期や学童期に料理作りをすることは目・耳・鼻・口・手の五感をフルに使って大変貴重な体験です。これからも、多くの子



どもたちに体験することを通して料理の楽しさ、食事の大切さを知ってほしいと考えています。その他にも、夏を乗り切るための栄養や、清涼飲料水についての勉強をしました。(学校給食課)

参加者の感想 屋城小 相川 凌

2泊3日の大島サマースクールで、ぼくはたくさんのお話を学びました。初めて会う人達との班活動、野田浜での水泳、さくら小との交流会、橋染め、どの活動も家族旅行とは違う楽しさが味わえました。特に、野田浜での水泳は心に残りました。海であんなに泳げた事もないし、あんなふうに海で遊んだ事がないからです。他の学校の人も仲よくなりました。もう大島サマースクールには行けないけれど、他のサマースクールにも行ってみたいですね。

第10回子供すもう大会成績

=団体戦=

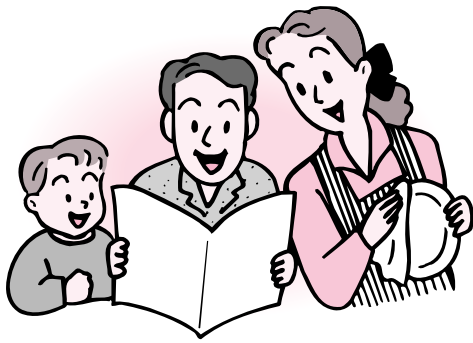
	学校名	先鋒	次鋒	中堅	副将	大将
優勝	南秋留小学校	坂本千佳	小嶋 慧	中村 嵐	平野雄大	馬場龍介
準優勝	草花小学校	滝島凌太	高木雅雅	川上優矢	塚瀬 樹	西田幹也
第3位	東秋留小学校	緒方貴士	中村成美	在原晃憲	金子大輝	山川 遥

=個人戦=

部	成績	名前	小学校名
1年生の部	優勝	澤田拓実	多西
	準優勝	石井 秀	東秋留
	第3位	西沢太郎	増戸
2年生の部	優勝	小磯堅秀	南秋留
	準優勝	緒方貴士	東秋留
	第3位	川原祐路	増戸
3年生の部	優勝	井出駿悟	草花
	準優勝	枝吉紅実	西秋留
	第3位	福岡 洵	一の谷
女子の部	優勝	宮下 航	南秋留
	準優勝	清水昌幸	一の谷
	第3位	一瀬秀星	一の谷
4年生の部	優勝	櫛 祥子	前田
	準優勝	山川 遥	東秋留
	第3位	森地麻帆	多西
5年生の部	優勝	鈴木柚実	東秋留
	準優勝	在原晃憲	東秋留
	第3位	佐藤圭悟	前田
6年生の部	優勝	平野雄大	南秋留
	準優勝	寺山 諒	東秋留
	第3位	平野雄大	南秋留
6年生の部	優勝	坂本康彰	南秋留
	準優勝	伊藤功記	南秋留
	第3位	原田大地	増戸
6年生の部	優勝	小玉和音	南秋留
	準優勝	西田幹也	草花
	第3位	川口拓也	多西

家庭は教育の原点です④

家庭の役割を見直してみましよう。



このコーナーでは、教育委員会が「思いやりのある子どもを育てる」ために、「大人が変われば、子どもが変わる！」できることから実践しよう」を市民のみなさんに呼びかけ、特に、教育の原点である家庭の役割を見直し、子どもの心のよりどころとしての家庭のあり方について一緒に考えてきた8項目の内容を「家庭へのメッセージ」としてシリーズで掲載しています。今回は、その第4弾として、「家庭でも本を楽しもう！」です。本市の図書館整備事業も着々と進んでいますので、親子で本に親しみ、子どもたちを読書好きにする絶好のチャンスではないでしょうか。

家庭でも本を楽しもう！

「うちの子は、テレビばかり見ていて本を読まなくて・・・」
こんな悩みはありませんか。

できれば、本好きの子どもになつてほしいですね。

子どもは、読み聞かせが大好きです。同じ本を何度も読んでもらって内容を覚えていても、「早く次を読んで！」と催促するほど好きなのです。

子どもは、物語の世界に夢中になって、主人公といっしょに喜び、悲しみ、あるいはいっしょに夢を追いかけて、ドキドキ、ワクワクしながらいろいろな感情を体験します。実際には見えない情景も文章表現を通して思い浮かべます。

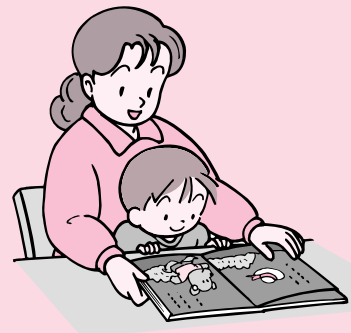
このように、読書は、子どもの心を広げたり、たくましくしたり、豊かにしてくれます。

しかし、「読みなさい」と言われて、本は楽しめるものではありません。では、どうすれば子どもは本に向かってくれるか。

○小さいときからの読み聞かせは、子どもに読書の楽しさを教えます。

○小学生になっても、その年齢に合った本の読み聞かせはとも大切です。

○親がテレビを見ていて、読み



なさいと言ってもダメです。親が読書を楽しんでいる姿を見せましょう。

○子どもに読んでもらって、親が本気で聞いてあげることは、子どもの励みになります。

○親子で同じ本を読み、感動を共有することも大切です。

○読みやすい本から始めましょう。

○家族と一緒に図書館を利用する習慣をつける。

○いろいろな本を読んで、心に栄養をつけられるといいですね。

教育委員会の活動 (会議)

(会議)

四月定例会

●(議案)あきる野市社会教育委員の解嘱及び委嘱について

●(報告)臨時代理した教育委員会の職員の人事異動に関する報告及び承認について

五月定例会

●(議題)いじめ・不登校、ゼロへの挑戦及び学校の安全・安心対策について

六月定例会

●(報告)臨時代理した(仮称)あきる野市中央図書館立休駐車場新築工事の請負契約に関する報告及び承認について

●(議題)学力向上対策について

七月定例会

●(議案)平成18年度使用教科用図書(中学校)の採択について

●平成18年度使用教科用図書(心身障害学級教科書)の採択について

○八月定例会

●(議案)平成17年度あきる野市教育委員会所管予算(第2号補正)について外3件

●(議題)いじめ・不登校、ゼロへの挑戦について

●(議題)いじめ・不登校、ゼロへの挑戦について

指導・学務課 電話558・8859

家族と一緒に 図書館を利用 しましょう

図書館は、赤ちゃんからお年寄りまで、市民のだれもが利用することができる施設です。暮らしや趣味、調べ物や仕事に役立つ本や雑誌、絵本など、自分が利用したい時間や目的に合わせて利用することができます。

あきる野市の図書館では、子どもへのサービスを活動の柱の一つとして、子どもたちの健やかな成長のために、年齢にあつた本を揃えるとともに本を読む楽しさを伝える事業を行っていますので、ペーターカーを押して、またお散歩の途中や雨の休日に、親子や家族で気軽にご利用ください。

○子どもと読書

小さいときからお話や絵本に親しみ、子ども時代を通して想像力豊かな物語の世界に接することは、子どもが成長していく上で欠くことのできないものです。

読書は、言葉を学び、表現力を高め、自ら感じる力を獲得する上で重要な働きをするといわれていますが、子どもたちが本を楽しむには、親子、家族で読書に親しむ環境が必要です。

特に、乳幼児期の絵本を仲立ちとした親子のかかわりは、心を育む上で大変重要で、心に残る本と親子の時間は、子どもにとつても大人にとつても生涯の記憶に残るひとときとなるでしょう。

また、子どもの本の中には大人が各分野の入門書として利用できる内容のものや、概要を短時間で知るために活用できる本もたくさんあります。時には一緒に本を楽しんでみませんか。

○子どもの年齢にあつた本を豊富に揃えています。

絵本や物語をはじめ、赤ちゃんから青少年まで、年齢に見合った幅広い分野の本を、図書館員が一冊づつ選んで揃えています。貸出は無料で、貸出冊数の制限はありません。また、子供の本に関する相談もお受けします。

○子どもと本を結びつけるお手伝いをしています。

子供たちに、おはなしや絵本の読み聞かせなどを各館で行っています。

また、乳幼児期の親子を対象とした事業に毎月一回「わらべうたのじかん」があります。
(東部図書館工ルで実施)

○おすすめする本のリストを配布しています。

幼児から小学校高学年にむけて、図書館員がおすすめする本のリストを年2回発行し、館内をはじめ、市内小学校や公立保育園などに配付しています。

○いろいろな行事を行っています。

この他にも、子供たちに本への興味をもってもらうため、劇団による劇や人形劇、絵本作家や児童文学者による講演会、映画会、原画展などの行事を行っています。

問い合わせ等

- 秋川図書館 558・1108
- 東部図書館工ル 550・5959
- 五日市図書館 595・0236
- 増戸分室 596・0109
- ホームページ：
<https://www.library.aikiruno.tokyo.jp/index.asp>



平成18年度使用教科用図書(中学校)が決定しました。

市内の中学校が、平成18年度から4年間使用する教科書が、去る、7月27日のある野市教育委員会7月定例会において以下のとおり採択されました。

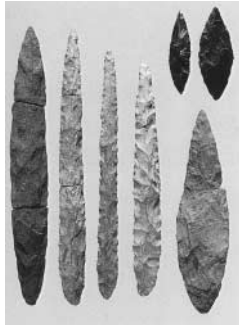
教科	出版社
国語	光村図書
国語書写	教育出版
社会(地理)	教育出版
社会(歴史)	東京書籍
社会(公民)	東京書籍
社会(地図)	帝国書院
数学	東京書籍
理科(第一分野)	東京書籍
理科(第二分野)	東京書籍
音楽(一般)	教育芸術社
音楽(器楽合奏)	教育芸術社
美術	光村図書
保健体育	学習研究社
技術・家庭(技術)	東京書籍
技術・家庭(家庭)	開隆堂
英語	三省堂

てくてくあきる野
むかし発見！
第一話「前田耕地遺跡
こぼればなし」

8月1日(月)に開館した東
部図書館エルの南側には、木立
に囲まれた前田公園がありま
す。一見、普通の公園と変わら
ないように見えますが、実はこ
こは遺跡を保存した遺跡公園な
のです。ここに建ち並ぶ住
宅の建設工事に先立って、昭和
五十一年から六十二年まで発掘
調査が行なわれ、縄文時代や弥
生時代、平安時代などの家の跡
や土器などが数多く発見されま
した。

また、全国的にも非常に珍し
い遺構や遺物も発見され、「前
田耕地遺跡」として昭和六十三年、東京都の史跡に指定されま
した。さらに、出土品の一部は
国の重要文化財に指定されてい
ます。それらが発見されたの
は、エルのすぐ北の地区でし
た。今回はそのときのエピソードをひとつ紹介しましょう。
この地区の調査も順調に進
み、間もなく終了かというある
日のこと、砂利層を掘り下げて
いた一人の作業員が、一点の石
器を発見しました。見ると石槍
(いしやり)と呼ばれる、木の

葉型のまぎれもない石器です。
1メートルほど掘り下げられた
穴の底には濁った地下水がたま
り、作業員の話ではこの底から
石器は出た、というのです。驚
きました。なぜなら、この砂利
層はここがまだ川底であった時
代に堆積したものですから、人
の活動の跡なんて見つかるはず
がないからです。でも、「ここ
から掘り出した」という言葉を
信じて、試しに濁った水の中に
両手を入れ、底からすくえるだ
けの砂利をすくい上げてみまし
た。するとどうでしょう、両手
に山盛りになって現れた砂利の
中に、先程と同じ様な石槍や鋭
く尖った石のかけらがたくさ
ん、顔を見せていたのです。



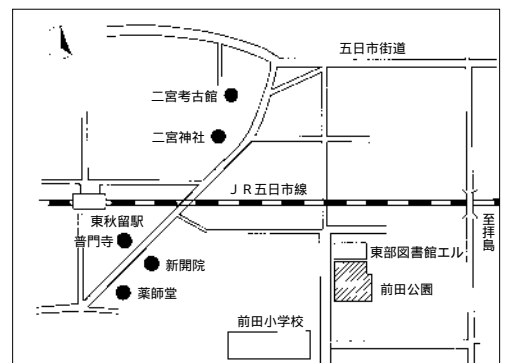
出土した石槍
(東京都教育委員会所蔵)

「ええ!!」みんな驚きの声を
上げました。急ぎよ、この穴の
周囲を注意しながら広げてみる
ことになりました。すると、砂
利層の上に堆積していた黄色の
砂から次から次へと石器や作る
ときに出る石のかけらが出てき
たのです。実は、石器は砂利層

ではなくこの黄色の砂の層に含
まれていたものでした。この砂
が穴に落ち込んで砂利層に混
ざったために、あたかも砂利層
から石器が発見されたと思われ
たのでした。この黄色の砂層は
地質調査によって今から約一万
三千年前に、秋川が氾濫して堆
積させた土であることが明らか
になり、石槍はこの時代の人が
残したものと判明したのです。
エルの辺りまで氾濫してきてい
た秋川とは、当時どんな姿だっ
たのでしょうか。

この地区から出土した石器は
ついに約二千二百点、石のかけ
らは五十万点にもほり、大規
模な石器の製作跡であることが
明らかになりました。また、こ
の中心部から二軒の建物の跡が
見つかかり、その一軒からは土器
が見つかったことから縄文時代
の最初の時期に相当することが
判りました。更にここから鮭の
歯も見つかかり、当時の人々が秋
川で鮭をとっていたことも判り
ました。

前田公園の地下には、この時
期より新しい時代ですが縄文時
代や弥生時代の住居跡が手つか
ずで保存されています。沢山の
土器や石器も眠っているに違い
ありません。エルを訪れた際に
は、是非立ち寄ってみてくださ
い。きっと新しい発見があるで
しょう。



男女共同参画推進 市民会議が発足しました

平成17年7月に第3期男女共
同参画推進市民会議が発足しま
した。

あきる野市では、平成16年3
月に男女共同参画計画「あきる
野男女共同参画プラン」を策定
しました。市民会議では、専門
的知識を有する立場、市民とし
ての立場からプランの推進につ
いて行政と協働して協議検討し
ていきます。

委員は、一般公募の2名を含
め10名です。

市民会議委員

上杉	秀子
岡野	哲史
岸野	雅治
篠原	敬子
田中	正子
橋爪	由里
平野	博典
平間	豊彦
森田	康大
山崎	哲夫



- 写真右から
●加藤美樹さん(東京都世田谷区在住)
- ミラコラ・ジャコモさん(イタリア・シチリア州在住)
- 近藤英樹さん(東京都町田市在住)

平成17年度アーティスト インレジデンス事業

教育委員会では、アートスタ
ジオ五日市(戸倉300番地)
に9月1日から11月30日まで外
国人1名と国内から2名の計3
名の若手版画家を招き、小學生
や地域との文化交流を図りなが
ら版画の創作活動を行うアー
ティスト イン レジデンス事
業を実施しています。
今年度で13回目を迎え、アー
ティストの出身国もアメリカ、
ブラジル、オーストラリア、フ
ランス、ポルトガル、インドな
ど12か国に及んでいます。
今年度は、次の方々を招いて
レジデンス事業を実施していま
す。